

秩父鉄道株式会社 安全報告書 2023



1. 経営責任者からのメッセージ
2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標
3. 安全管理体制と方法
4. 輸送の安全への取り組み
5. 安全確保のための教育・訓練
6. 鉄道事故等に関するご報告
7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

1. 経営責任者からのメッセージ 「安全報告書2023」の公表にあたって

日頃より、秩父鉄道をご利用いただきまして誠にありがとうございます。安全報告書2023の公表にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和される中、深谷市において大型商業施設が10月に開業されるなど、沿線への流入人口増加の動きも見られました。こうした環境変化を捉え、ダイヤ改正を実施するとともに、更に沿線の市町や商業施設、同業他社と連携した誘客活動を積極的に展開いたしましたが、感染症の波状的な拡大や電気料金をはじめとする諸物価の上昇など鉄道事業を取り巻く環境は厳しい状況で推移しました。

当社では、公共交通機関として「安全・安心・安定」を維持できる事業者であることが使命であり、輸送の安全、無事故、無災害の達成を最優先課題として掲げております。しかし、2022年度はインシデントを3件発生させ、7月28日には落雷に伴う瞬間停電により遮断かんが上昇し、踏切内へ進入した軽自動車と列車が衝突する事象を発生させてしまいました。速やかに原因究明し、再発防止対策を施し安全性の向上を図りましたが、お客様にはご心配と、ご迷惑をおかけしてしまったことを深くお詫び申し上げます。

輸送の安全性向上につきましては、軌道モーターカーの更新、踏切道の改修、小前田変電所高速度遮断器更新工事のほか熊谷駅駅舎耐震補強工事、運転指令所・各駅の分電盤雷対策工事等、近年頻発・激甚化する自然災害などに備えました。

本報告書は、鉄道事業法に基づき2022年度における安全輸送のための取り組みや輸送の実態を紹介するため発行いたしました。皆様方の声を、今後のより一層の安全性向上に役立てるため、率直なご意見とご感想をお聞かせいただけると幸いです。



秩父鉄道株式会社
代表取締役社長 牧野英伸

2. 輸送の安全に対する基本方針と安全目標

(1) 安全に関する基本方針

安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに「安全・安心・安定輸送」を提供するため、「安全基本方針」を定め、「安全行動規範」は社員等の安全に関する基本行動として徹底しております。

「安全基本方針」

- ① 「安全最優先」が鉄道事業の最大かつ最重要の根幹であることを認識し、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ② 輸送の安全確保に関する法令、規程を遵守し、誠実に職務を遂行します。
- ③ 安全管理体制を適正に運用し、維持・向上に努めます。

「安全行動規範」

- ① 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとります。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

(2) 安全目標

さまざまな安全性向上施策に取り組むため「安全基本方針」「安全行動規範」を遵守し、社内に安全風土、安全文化を構築、確立し、安全最優先の原則を遵守します。

“スローガン”

感染症対策の継続実施と、常に安全を最優先とし責任事故0・インシデント0

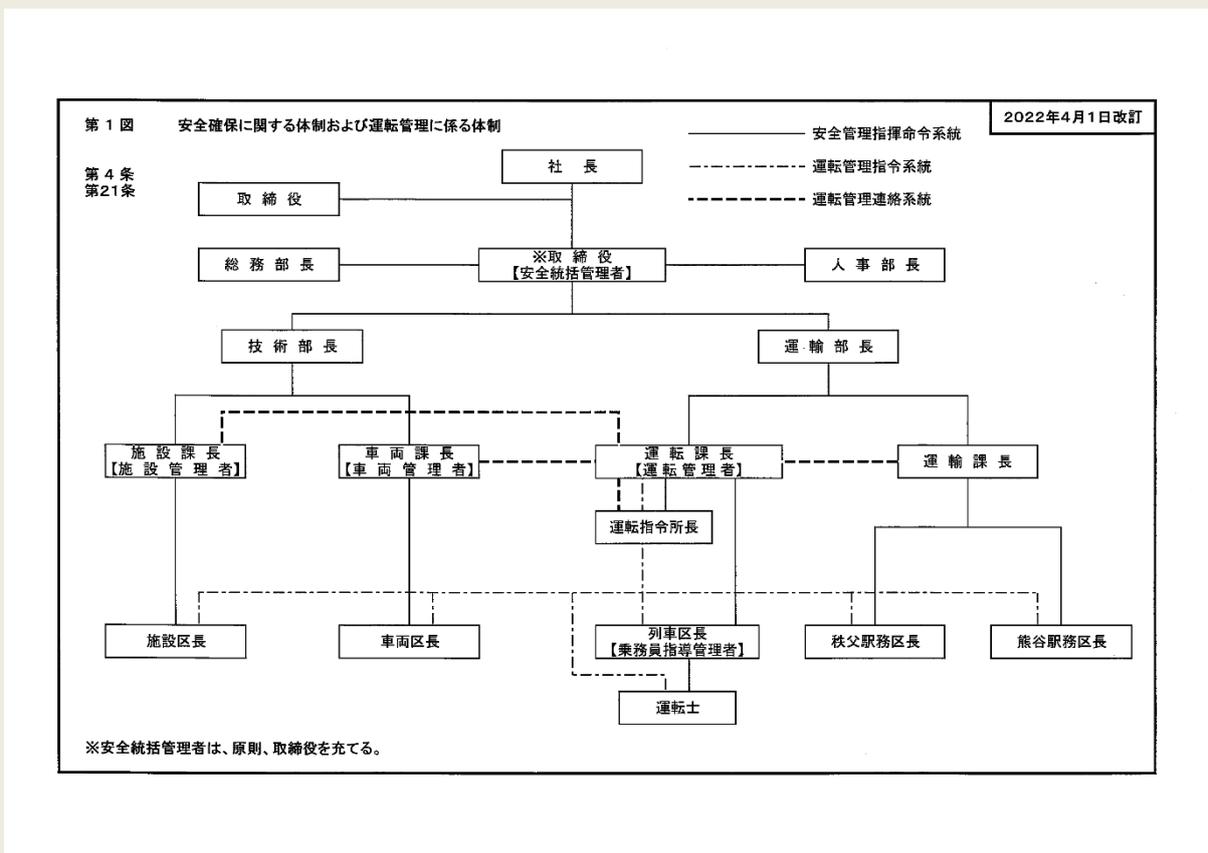
3. 安全管理体制と方法

(1) 安全管理体制

2006年10月1日に制定された「秩父鉄道 安全管理規程」では、社長を最高責任者とし、社長が選任した安全統括管理者のもと、安全推進の管理体制を確立し、各管理者の役割と権限を明確に定めております。

役 職	役 割
社 長	安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、輸送の安全を確保するための最終的な責任を負う。
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
技 術 部 長	安全統括管理者の下、施設、車両に関する業務を統括する。
運 輸 部 長	安全統括管理者の下、運転に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
総 務 部 長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、財務に関する事項を統括する。
人 事 部 長	輸送の安全の確保に必要な人事に関する事項を統括する。

(組 織 図)



(2) 安全管理の方法

① 運転事故防止対策委員会

輸送の安全確保を目的に、安全統括管理者を委員長とする「運転事故防止対策委員会」を毎月1回開催し、事故、災害等が発生した場合の対応・処置を検証し、ヒヤリハット報告事案の分析、事故防止に関する事項、再発防止策の立案・決定を行っております。

② 職場巡視

社長、役員、各部課長が、夏季運転無事故運動、年末年始輸送安全総点検の運動期間中各職場を訪問し、安全に関する取り組みや創意工夫等について、各所属員と直接対話することにより安全性の向上と一人ひとりの安全意識の高揚を図っております。



夏季運転無事故運動



年末年始輸送安全総点検

③ 内部監査

鉄道輸送における安全管理体制が構築され、適切に運用し継続的に機能していることを確認するため定期的に実施しております。2022年度の社長（経営トップ）へのインタビューでは、重大な事故の対応手順や的確な指示等、経営トップの積極的関与が見受けられ、安全管理体制の構築、維持、改善のため、かつ輸送の安全を確保するためのリーダーシップを確認しました。

安全統括管理者へのインタビューでは踏切関係・車両関係のインシデント対応について、当該踏切の制御方式の変更や原因について外部機関への調査依頼を指示するなど具体的な対応を確認しました。

4. 輸送の安全への取り組み

2022年度も列車運行の安全性の確保・維持と改善、旅客サービスの向上のため、安全対策・修繕工事を実施しました。これらのうち主な取り組みについてご紹介いたします。

安全重点施策

2022年度の安全対策工事と主な修繕費

安全対策更新工事	242,053千円
主な線路修繕工事	118,712千円
主な電気修繕工事	20,724千円
主な車両修繕工事	22,874千円
計	404,363千円



更新された軌道モーターカー

※軌道モーターカーを更新し、夜間作業にてレール運搬や砕石散布・軌道整備を行っております。

(1) 2022年度の安全対策工事 施設関係

① 熊谷駅駅舎耐震補強工事

震災時に避難場所、駅の利用者の安全を守るため熊谷駅駅舎の耐震工事を施工いたしました。



熊谷駅駅舎耐震補強工事

② 軌道整備

道床砕石を1620t補充のうえ、マルチプルタイタンパーによる軌道整備を61km実施しました。

③踏切道の改良工事（騒音・振動の軽減）

ゴムの弾性により衝撃を吸収し、騒音・振動の軽減を図り、踏切板を専用のP Cマクラギで支持する構造により大型自動車が通行可能なK G式弾性構造踏切に改善いたしました。



K G式弾性構造踏切に改善整備した黒谷 No.8 踏切道

④架線の張替

摩耗や経年劣化が進んだ吊架線630m・電車線465mの張替えを実施しました。また、経年した配電線を390m張替えました。

⑤変電所機器の更新

経年の進んだ、小前田変電所の高速度遮断器の更新を実施いたしました。今後も計画的に進めてまいります。

車両関係

7800系用S I V電源装置、5000系用S I V制御アンプ、6000系用信号分配器等の修繕・更新を実施いたしました。



7800系用S I V電源装置更新



6000系用信号分配器修繕

5. 安全確保のための教育・訓練

(1) 現業職場における各種訓練

夏季運転無事故運動・年末年始輸送安全総点検等の運動期間中に異常時を想定した訓練を実施する他、乗務員には経過年教習等の実施、鉄道技術講座の受講（施設関係・車両関係）や他事業者へ出向いての講習会等、係員の知識向上を目的として取り組んでおります。



指導通信式訓練（駅務員）



電気転てつ器取扱い訓練（駅務員）



救援併結訓練（乗務員）



車両教習（新人乗務員）



単独乗務1年経過教習（乗務員）



軌道の維持管理講習会（施設係員）

(2) 不審者対応訓練

この訓練は、近年、鉄道施設・列車内において傷害事件が発生しており警察との合同訓練を行い、緊急時の心構えや旅客の避難誘導、警察通報、情報伝達方法について確認するとともに警察との連携を可視化し、テロを未然に防止することを目的に当社運輸部・技術部および埼玉県熊谷警察署員の多数参加により9月に実施いたしました。



不審者対応訓練

(3) 防災訓練

毎年9月1日の防災の日または防災週間に、大きな地震が発生した場合を想定して、旅客列車の運転を一斉に停止させ、関係各所へ確実な情報を伝達し、震度階判明に伴う列車の減速運転、橋梁・法面等に出動しての施設・設備点検が安全に行えるよう訓練しております。

2022年度は、九都県市防災訓練日程に合わせ9月に実施しました。



情報伝達訓練



情報伝達訓練



施設・設備点検（電線路）



施設・設備点検（線路）

6. 鉄道事故等に関するご報告

2022年度に発生した「鉄道運転事故」「輸送障害」「インシデント」の発生件数は、以下のとおりです。

「鉄道運転事故」 3件（全て踏切障害事故）

列車衝突事故、列車脱線事故、列車火災事故、踏切障害事故、道路障害事故、鉄道人身障害事故、鉄道物損事故をいいます。（自殺と思われるものは、鉄道運転事故に含まれません。）

「輸送障害」 8件（車両故障1件、自然災害その他7件）

列車の運転を休止したもののまたは30分以上の遅延を生じたものをいいます。

「インシデント」 3件（踏切関係2件、車両関係1件）

運転事故が発生する恐れがあると認められた事態をいいます。

7. ご利用のお客様、地域の皆様とともに

（1）サービス介助士資格の取得

社会の高齢化が進む中、多くのお客様に対して安心して鉄道をご利用いただけるよう、職員のサービス介助士資格の取得を推進しております。2022年度までに、駅係員、列車乗務員、その他職域を含む83名が資格を取得いたしました。

（2）AEDの設置

お客様の急病等万一の事態に備え、羽生、熊谷、明戸、武川、永田、ふかや花園、小前田、寄居、長瀬、秩父、御花畑駅にAED（自動体外式除細動器）を設置しております。

（3）こども110番の駅

鉄道を利用して通学や学習塾などに通うお子さまを危険から守り、より一層安心して駅を利用していただく環境作りと地域への貢献を目的として「こども110番の駅」の取り組みに羽生、熊谷、武川、寄居、長瀬、秩父、御花畑、影森、三峰口の9駅にて参加しております。

（4）埼玉県防犯のまちづくりに関して

「埼玉県防犯のまちづくりに関する協定」に基づき、こどもや高齢者等を犯罪から守るための見張り活動、犯罪や不審者認知時の積極的な110番通報等について更なる協力をを行うために次の取り組みを宣言しております。

◇駅（事業所）に助けを求めてきた場合に保護、110番通報等の対応を行います。

◇社用車を運転中に犯罪を認知した場合に110番通報等の対応を行います。

